

# いおくニュース

IOKU NEWS

vol. 91

2018年7月号 | July, 2018



## 提言

### 子どもの虐待死ゼロへ 警察と児相 子ども虐待で連携を

**カ**ンヌ国際映画祭最高賞を受賞の「万引き家族」。是枝監督といえ「家族」ですが、私が初めて見たのが「誰も知らない」という映画です。この話は、実話をもとになっています。母親が養育放棄し、14歳から2歳の兄弟姉妹4人だけで生活。最後には、兄らが下の妹を暴行し、死に至らしめたという事件です。子どもだけで生活していることに近所の方も「おかしい」と思いながらも、警察にも児童相談所（以下、児相）にも長期間通報はありませんでした。



もっと詳しく中面へ

1988年東京都豊島区で起きた事件でした。  
2000年11月児童虐待の防止等に関する法律が施行され、何度かの改正が行われました。現在では虐待の疑いがある場合、私たちひとり一人に通報する義務が課されています。

## 猪奥美里（いおくみさと）プロフィール

1980年奈良市秋篠町生まれ  
平城小学校・平城中学校／ジーク高校（ドイツ）／奈良大学附属高等学校／立命館大学・立命館大学大学院（環境経済学専攻）／衆議院議員秘書  
2011年奈良県議会議員初当選 2015年4月2期目当選  
◆ 経済労働委員会委員 防災・県土強化対策特別委員会副委員長



## データでみる！奈良県政



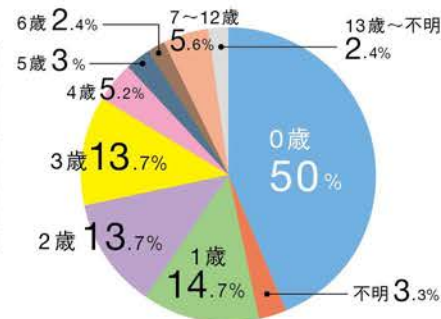
今月のテーマ

### 子どもの虐待

#### 奈良県の虐待の相談件数



#### 虐待で死亡した子どもの年齢



虐待はドラマの中や特別なことではなく、ごく近くに苦しんでいる子どもがいるかもしれない。私たちに義務づけられている通報は、虐待だという確信がなくても大丈夫です。一方、件数が増えるほど、児童相談所の深刻な人手不足が課題となっています。職員さん一人約140件をも抱えています。人員も含め強化をし、子どもの事を第一にできる体制へと進めていきます。

もしかしたら虐待かも、そう思った時点で通報してください。通報先は、**189(いちはやく)**。近くの児童相談所の窓口などにつながります。



## 連絡先

〒631-0817 奈良市西大寺北町1丁目1-16 岡本ビル103号  
TEL 0742-53-1093 FAX 0742-53-1094 MAIL info@ioku.jp

## ポスティングのお願い

このいおくニュースは、いおくや事務所スタッフ、そしてボランティアの皆さんで手配りをしています。少力で結構ですので、お手伝いいただける方は、ご連絡ください。

## 今月のいおく



子どもたちがお仕事体験ができるイベントを開催。私も、土地測量などを経験。



大阪、京都など近畿内の連合の職員の方への研修会があり、講師を務めました。



所属委員会変更になり、今期最後の経済労働委員会。農業の担い手について質問。

1日 (金)	支持者訪問
2日 (土)	連合奈良「女性の未来塾」、 国民民主党奈良県連一区幹事会
3日 (日)	奈良県腎友会定期総会、 平城地区社会福祉協議会総会・自主防災・ 防犯会総会
4日 (月)	市役所にて児童相談所設置の件でヒアリング
5日 (火)	連合奈良の日
6日 (水)	事務作業
7日 (木)	国民民主党奈良県連県民運動・広報委員会
8日 (金)	支持者訪問
9日 (土)	支持者訪問
10日 (日)	NPO 法人奈良難病連定期総会
11日 (月)	国民民主党奈良県連県連役員会・常任幹事会
12日 (火)	支持者訪問
13日 (水)	奈良マラソンエントリー！
14日 (木)	防災・県土強靱化対策特別委員会
15日 (金)	議会運営委員会
16日 (土)	支持者訪問
17日 (日)	奈良青年会議所① 「まほろばぞーる 2018 カモンキッズ」
18日 (月)	6月定例県議会開会日
19日 (火)	支持者訪問
20日 (水)	支持者訪問
21日 (木)	支持者訪問
22日 (金)	議会運営委員会、本会議
23日 (土)	女性センター講座 「性暴力を考える～法的支配の現場から～」
24日 (日)	平城地区ソフトボール大会
25日 (月)	議会運営委員会、本会議 代表質問
26日 (火)	議会改革推進会議、議会運営委員会、 本会議 一般質問
27日 (水)	議会運営委員会、本会議 一般質問
28日 (木)	連合近畿ブロック職員研修会②
29日 (金)	経済労働委員会③
30日 (土)	事務作業

3

月、東京都目黒区で、5歳

の女の子が父親に殴り殺される事件が起きました。引越越し前の香川県では、虐待の疑いでも書類送検。「虐待の危険性が高い家庭」と伝えられ、東京の児相が訪問するも、会えないという状況でした。

児相だけでなく、市町村や警察にも虐待の通報が入ります。私には、この関係機関の情報共有に問題があると考えます。児相が持つ情報は、「危険性が高く特に必要」と判断されたものだけが警察に共有されています。しかし、危険性が低いと児相だけで判断できるのででしょうか？2016年、生駒市の虐待死事件（プラスチックケースに入れられ窒息死）でも、警察との情報共有はありませんでした。（警察から児相へは全件

情報提供されている）

警察との連携があれば、救える命もあったのではないかと。過去には、児相が把握している虐待家庭で、近隣住民が勇気を持ち「親の怒鳴る声と子どもの鳴き声がする」と警察に110番通報しても「駆け付けた警察官がその家で虐待がある事実を知らず「夫婦喧嘩です」と親に騙されて帰り、子どもが死亡するケースもありました。家庭という密室の中で、助けを求めることのできない子どもがいます。

私は、児相は警察と連携をとり、全件情報共有すべきと考えます。24時間対応できる機動力と豊富な人員、時には暴力的な親にも毅然と対応できる警察との連携があれば、救える命は増える。そして、児相は他機関と情報共有・連携することで、子どものケ

アと親への指導、養子縁組あつせん等、虐待対応の以外の重要な任務にも力が入られるようになると思います。

PICK UP

## 6月県議会 高校適正化計画、反対

奈良市の高校3校を2校にする再編や、校名の変更等が盛り込まれた高校適正化計画が上程され、私は反対をしました。

「生徒数に合わせ高校を減らす必要がある。専門性を持つ高校を作る」という趣旨には賛成です。しかし突然の閉校や校名変更には反対意見がでるのは当たり前です。来年度入学生から影響が出るにも関わらず、案が発表されたのは議会のわずか10日前。反対を恐れ、議論に蓋をしていることに他なりません。